

平成 30 年度大阪連続講座

近代大阪のいしずえ



— 明治 150 年 —

平成 30 (2018) 年は、近代日本の夜明けともいふべき明治元 (1868) 年から 150 年目の節目の年にあたります。幕末の動乱を経て成立した明治政府は日本を近代化すべく改革を進めました。その影響は大阪にも及び世情の激動のなか、現代につながる大阪の基礎が築かれていきます。

今年の大阪連続講座は、「近代大阪のいしずえ - 明治 150 年 - 」と題し、幕末・明治期の大阪について、4 名の講師にさまざまな視点から語っていただきます。

7/7 (土) 第 1 回 幕末の大坂と大坂城

講師: 宮本裕次 氏 (大阪城天守閣 研究副主幹)

7/14(土) 第 2 回 大阪の近代お笑い史

講師: 古川綾子 氏 (国際日本文化研究センター 助教)

7/21(土) 第 3 回 大阪「断刑録」の世界

— 刑事判決記録からうかがう明治初年の大阪 —

講師: 安竹貴彦 氏 (大阪市立大学法学研究科 教授)

7/29(日) 第 4 回 幕末維新の動乱と大坂

— 朝ドラの背景を探る —

講師: 山崎有恒 氏 (立命館大学文学部 教授)



「大阪名所」
大阪市立図書館デジタルアーカイブより一部改変

● 時間 午後 2 時から 4 時 (開場午後 1 時 30 分)

● 定員 各回 300 名 (当日先着順)

● 入場無料

● 会場

大阪市立中央図書館 5 階大会議室

▼ 主催・お問い合わせ ▼

大阪市立中央図書館

大阪市西区北堀江 4-3-2 電話: 06-6539-3302

<http://www.oml.city.osaka.lg.jp>

★手話通訳等ご希望の方は申込が必要です。

各回とも開催日の 3 週間前までに、お名前・ご連絡先・講座名を明記して、手話通訳等希望とお申込みください。(FAX06-6539-3335)



★地下鉄千日前線・長堀鶴見緑地線西長堀駅 7 番出口すぐ

第1回 7/7(土) 幕末の大坂と大坂城

江戸時代、大坂城は徳川幕府による西日本支配の拠点としての役割を果たしました。幕末には将軍が入城したり、外国使節が訪れたりするなど、政治の中心地として脚光をあびます。将軍は大坂城で何をしたのでしょうか。人々は大坂城をどんな思いで見つめたのでしょうか。「町人の都」大坂の、激動の幕末を振り返ります。

宮本裕次 氏 (大阪城天守閣 研究副主幹)

昭和41年(1966)静岡県生まれ。神戸大学大学院を経て平成4年(1992)より大阪城天守閣に学芸員として勤務。同15年主任学芸員、同25年に研究副主幹。専門は日本近世史・地域史。大阪城天守閣では『真田幸村と大坂の陣』『浪人たちの大坂の陣』『徳川大坂城』『幕末の大坂城』『大阪城の近代史』など、近世から近代・現代に至る大阪城の歴史をあつかう展覧会を主に担当してきた。昨年には『幕末大坂城と徳川将軍』を担当。

第2回 7/14(土) 大阪の近代お笑い史

近代化により誕生した「大衆」はどんな「お笑い」を見て聴いて笑っていたのでしょうか。明治に書かれた新作落語の中には古典落語としていまも人気の演目がいくつもあります。江戸時代に人気があったニワカが喜劇へと発展したきっかけはなんだったのか。落語や喜劇、万歳(漫才)を中心に大阪の近代お笑い史をたどります。

古川綾子 氏 (国際日本文化研究センター 助教)

平成13年4月から平成27年3月まで大阪府立上方演芸資料館に学芸員として勤務。平成27年10月から現職。国際日本文化研究センターでは浪曲のSPレコード約1万枚のデジタルアーカイブ構築を中心に上方演芸・上方喜劇の研究を行う。ほかに文化庁芸術選奨文部科学大臣賞審査委員等。

第3回 7/21(土) 大阪「断刑録」の世界—刑事判決記録からうかがう明治初年の大阪—

大阪地方検察庁に保存されていた歴大な刑事判決記録のなかから幾つかの事件を取り上げ、明治初年の大阪の状況をうかがうとともに、法・刑事裁判・行刑の近代化の実態についてもその一端を紹介します。

安竹貴彦 氏 (大阪市立大学法学研究科 教授)

大阪府生まれ。1986年、大阪市立大学法学部卒業。1991年、同大学法学研究科後期博士課程単位取得退学。1991年より同大学法学部助教授。2002年より同大学院法学研究科教授。2013年度より大学史資料室長。

第4回 7/29(日) 幕末維新の動乱と大坂—朝ドラの背景を探る—

—昨年に放映された朝の連続ドラマでは大阪が舞台となり、歴史の運命に翻弄される主人公の姿が描かれました。大阪の大商人に嫁いだ姉妹は、なぜ苦境に陥ってしまったのか？その背景にはどんな政治的駆け引きがあったのか？楽しく、わかりやすくお話しします。

山崎有恒 氏 (立命館大学文学部 教授)

1964年生まれ。日本近代政治史を専攻。政治史、治水史、植民地競馬史などを研究。東京大学文学部を卒業後、同大学院人文科学研究科に進学、1994年同大学院単位取得満期退学、同年東京大学文学部助手。1995年より立命館大学文学部専任講師、1998年同助教授。現在立命館大学文学部教授。

関連企画

Webギャラリー

「近代大阪のいしずえ -明治150年-」
6/1(金)~8/31(金)

「明治150年」にちなみ、明治期の建築物の絵はがきや当時の様子を伝える写真などの当館所蔵資料から、幕末、明治期以降の大阪の近代化の歩みをたどります。

★大阪市立図書館デジタルアーカイブにて掲載

3階ケース展示

「近代大阪のいしずえ -明治150年-」
6/22(金)~9/19(水)

「明治150年」にちなみ、幕末から明治期の近代化する大阪の姿について、当館所蔵の関連資料を展示します。